

岡山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和 2年7月6日(月) 本部棟3階 入札室		
委員	委員 山崎 雅弘 (大学教授) 委員 板野 次郎 (弁護士) 委員 小橋 仙敬 (公認会計士)		
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日		
抽出案件(合計)	3件	<p>(備考)</p> <p>入札監視委員会設置要項に則り、互選により山崎委員が委員長に選出された。</p> <p>今回の審議対象期間においては、再苦情の申し立て及び同審議依頼はなし。</p>	
建設工事(小計)	2件		
一般競争入札(WTO)	0件		
一般競争入札(上記以外)	2件		
工事希望型競争入札	0件		
通常指名競争入札	0件		
随意契約	0件		
設計・コンサルティング業務(小計)	1件		
公募型プロポーザル	0件		
簡易公募型プロポーザル	0件		
標準プロポーザル	0件		
競争入札	1件		
随意契約	0件		
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	入札参加者が少ない場合の影響を鑑み、技術者不足で入札辞退となったケースについて、その技術者の配置状況について分析しておくことが望ましい。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>1. 岡山大学において発注した建設工事について [資料1] [資料2]</p> <p>特になし</p> <p>2. 岡山大学において発注した設計・コンサルタント業務について [資料3] [資料4]</p> <p>特になし</p> <p>3. 審議対象工事等に関する点検事項について [資料5] [資料6]</p> <p>点検事項①の一者応札の件数が多くなった印象はないか。 埋文調査に対応できる業者は少ないのか。</p> <p>一者応札について、地元建築業者が被災対応に追われ、入札参加を見合わせたと分析されているが、主な対応事業は何か。</p> <p>点検事項③の落札率が50%以下や点検事項④の入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の事業について、予定価格は適切であったか。</p> <p>業者には最低価格の情報は伝わっているのか。</p>	<p>ここ数年は2～3件となっており、増減は特に見られない。 埋文調査は、特殊な掘削作業を要する工事で、対応可能な業者は少ない。</p> <p>豪雨による災害対応（特に真備地区）が主である。それに加えて技術者不足の影響も大きいと考える。</p> <p>予定価格は積算基準等に基づき、適切に設定している。調査基準価格が近年上がってきており、その結果、落札価格の幅が狭くなっていることが要因の一つであると考えます。</p> <p>最低基準価格があるという情報は伝わっていると思う。県などは最低価格を下回ると失格になる場合があるが、岡山大学では最低基準価格を下回った者の内訳を確認し、妥当な理由であれば落札としている。</p>

<p>予定価格と、実際の価格とのずれは生じていないか。</p>	<p>入札内訳書と比較したところ、実勢価格に近いものとする。</p>
<p>入札金額の積算調査は行っているか。</p>	<p>参考資料で入札内訳書を電子入札システムに入力いただいている。数量公開をしているため、比較は可能である。</p>
<p>点検事項⑤の少額随契ではない事業において、分析が事業量の増加とあるが、主な対応事業は何か。</p>	<p>主な事業としては空調工事であり、岡山県や岡山市が夏季に向けて空調工事を大量発注しており、岡山大学より発注時期が早かったため、技術者不足により応札者が少なくなったと考える。</p>
<p>入札に参加をしていたのに、途中で辞退した業者において、その後、辞退した理由をヒアリングなどで確認しているか。</p>	<p>来られなかった業者に条件が厳しかったかなど、口頭で情報を得る事はあるが、資料として集積はしていない。</p>
<p>4. 審議対象工事等（抽出案件）について [資料7]</p>	
<p>機械購入及び取り付け作業では、機械の購入価格で工事価格が変動するため、大企業と中小企業では調達で差がでるのでは。</p>	<p>資料7-1【参考】のように、大企業傘下（メーカー系）の下請けであれば安価となる傾向がある。</p>
<p>設計業務の価格が低い気がするが、内容に不安はないのか。</p>	<p>当方から具体的な仕様書を提示し、提出された設計内容を精査している。 プロポーザル方式ではなく一般競争入札方式のため、競争原理が働いたと思われる。工事と異なり設計は人件費が多くを占めるため、企業努力により低価格とすることが可能なのではないか。 また、発注時期が1～3月の設計業界の閑散期にあたるため、安価での入札となったと考える。</p>
<p>5. 令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）指名停止について [資料8]</p>	
<p>特になし</p>	

6. その他

事務局より、要項に基づき次回からは抽出案件について審議を行いたい旨依頼があり、全委員から了承を得た。